



南台保育園 ● いしかわはると 石川晴登くん

プール

同じ保育園のお友達とプールで元気に遊んだときの様子を描いてくれた晴登くん(5歳)。「水鉄砲で遊んだり、おもちゃの魚で魚捕りしたり、プール大好き!」と、とても楽しそうに話してくれました。

ぼくの夢 Dream-91 わたしの夢



夢は…。 “声優”

白方小学校5年 ● まつやまゆう輝

私の夢は声優になることです。私が小さいころは、毎日、絵本を父や母に読んでもらっていました。でも学校で字を習ってからは、私が父や母や祖父母や5歳のいところに本を読んであげています。みんなとても喜んでくれるので、私もうれしくなります。特に登場人物になりきる読み方をほめてくれます。私も、読書を通していろいろな人物になったような気持ちになり、とても楽しいです。声優も役になりきるという意味で同じなので、今あこがれている職業です。そして、テレビの前で聞いている人たちに感動させられる仕事をしたいです。積極的にアニメの吹き替えにも挑戦して、子どもたちにも私の声を聞いてほしいです。私は、身近な人をテレビの前の人と思いながら、自分が声優になった気持ちで本を読んでいます。これからたくさん本を読んで、夢の実現のために頑張ります。

わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」 関口いく子



「お友達はできるかな」「近くに良い病院はあるかな」「新しい環境に馴染めるかな」など、不安の塊になりながら東海村に引っ越し、2か月がたちました。赤ちゃん連れの引っ越しは思った以上に大変で、片付けがやっと終わった!と思ったらもう10月。わが家の一人娘の愛子も7か月になっていました。予防接種もギリギリ、離乳食の開始も遅く、ダメ親のレッテルが張られてしまいそう…との反省から、まずは離乳食を本格的に始めました。ところが、昆布とかつお節でだしを取ったり、お米からおかゆを作ってみたりと、教科書どおりに頑張ってみても、当の本人はまったく興味を示さず、ガクツと肩を落とす毎日でした。しかし不思議なもので、気長にやろうと思いつめたころからモグモグと食べ始め、そのニコニコ顔にうれしさが込み上げてきたのを覚えています。子育てはこういうことの繰り返しなのかもしれないと、母親の喜びを聞いた出来事の一つでした。

も、人とのつながりが喜びに変えてくれると思うようになりました。子育て支援サークルで知り合った気の合う大切なママ友達、とても優しく丁寧に診察をしてくれる病院の先生、保育園の先生方——といった素晴らしい方々に出会えたことに感謝しています。また、天国からいつも見守ってくれている義父、愛子のためにかわいい洋服をたくさん縫ってくれる義母(愛子が着ているこの洋服も義母の手作りです)、無農薬野菜を作ってくれる元気な祖母、愛子を心配して何時間もかけて会いにきてくれる父母、そんな家族がいて幸せだと思っています。そして、日々忙しい夫が帰宅後は愛子と遊び、おむつを換えたりお風呂に入れたり、泣きやむまで抱っこをしてくれたりと、120%の頑張りを見せてくれてます。私には「いつもありがとう」と声を掛け、精神的なサポートもしてくれる、そんな夫に何よりも感謝の気持ちでいっぱいです。多くの人の助けに感謝をしながら、これからも子育てを楽しんでいきたいと思っています。